

別紙（中間評価書）

平成 30 年度文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）

通し 番号	1	事業区分：劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業 助成対象団体名：公益財団法人サントリーホール芸術財団 施設名：サントリーホール
<p>助成対象活動に関する評価</p> <p>（妥当性）</p> <p>サントリーホール自らが定めたミッション、ビジョンと事業計画の整合性については明確で、これらの達成に向けて事業が適正に組み立てられていると認められる。加えて、「港区文化芸術振興プラン」に参画し、地域のニーズを把握し地域に還元している。</p> <p>また、世界を視野に入れた多彩な次世代育成プログラムの展開、世界最高水準の音楽の提供、港区との連携事業による地域への還元を積極的に行っており、助成に値する文化的、社会的意義等が認められる。</p> <p>（有効性）</p> <p>目標の達成に向けて、事業が着実に推移していると概ね認められ、アウトカム発現の可能性に期待が持てる。ただし、目標の達成度を測定する方法等については、不明確な部分がある。</p> <p>（効率性）</p> <p>事業はほぼ計画通り実施されており、事業期間は適切であったと認められる。</p> <p>一方、事業費については、概ね適切であったと認められるものの、相当数の活動において、要望時の予算額と報告時の実績額との間で乖離を生じており、今後、より実効性のある予算積算と適切な予算管理が望まれる。</p> <p>（創造性）</p> <p>本ホールの中核をなす事業の一つとして、プロを目指す若手のための二つのアカデミーがある。「室内楽アカデミー」は、我が国音楽界のリーダー的存在である堤剛館長自身が陣頭指揮をとり、指導者に東京クアルテット創設時メンバーや室内楽のベテラン奏者を配し、「オペラ・アカデミー」では、世界的歌手のジュゼッペ・サッバティーニを講師に配し、年間を通じて高水準の教育を行っている。その修了生は、国内外でも活躍しており、特に「室内楽」については、アカデミー修了者による葵トリオが 2018 年 9 月にミュンヘン国際コンクールで第 1 位となるなど、修了生に対する国際的な評価も高い。また、アカデミー生は、「室内楽」では「チェンバーミュージックガーデン（CMG）」に、「オペラ」では「オペラ公演」「オペラ・アカデミーコンサート」に出演して一般聴衆に研修成果を披露するなど、事業間の有機的連携も図っている。これらアカデミーには、独創性、先導性が認められる。</p> <p>「CMG」は、世界的にも注目される国内最大規模の室内楽フェスティバルであ</p>		

別紙（中間評価書）

り、スペインのカザルス弦楽四重奏団による「ベートーヴェン・サイクル」、オーストリアのキュッヒル弦楽四重奏団による「ブラームス・サイクル」など、世界最高水準の楽団による演奏をはじめ、多彩で質の高い音楽を約 6,000 人の聴衆に提供した。独創性及び先導性が認められる。

「港区&サントリーホール Enjoy! Music プロジェクト」は、港区と提携して区立小学校全 4 年生を対象に、学校での事前授業とホールでの鑑賞体験をセットにした芸術体験プログラムで、オペラ・アカデミー修了生が講師を務めている。新規性及び先導性が認められる。また、赤坂アークヒルズの「桜まつり」に合わせて全館を無料開放する「オープンハウス～サントリーホールで遊ぼう」はさまざまな音楽コンテンツを会場内外で提供し、世界の一流楽団が演奏するホールで自由に音楽体験をする機会となっており、独創性及び先導性が認められる。

国内外の楽団はサントリーホールで演奏できることを目標としており、「世界のクラシック音楽の殿堂」としての位置づけを確固たるものとしている。「アカデミー（研修会）」、「オルガンプロムナードコンサート」、「オープンハウス～サントリーホールで遊ぼう！」など、次代の演奏家や聴衆、音楽ファン育成に向けた事業は、内容的にレベルの高いものでも無料で行われており、社会包摂を考慮した取組も認められる。我が国の音楽専用ホールの代表格であり、国内外を問わず本ホールへの評価の向上につながっていると認められる。

（持続性）

組織面では、非正規職員から正規職員への転換を進めており、組織体制の強化がなされている。

財務面では、サントリーホールディングスとの密接な関係を基礎とした安定的な財務基盤の確保がなされている。

以上のことから、組織活動が持続的に発展し、アウトカムの発現・定着が期待できると認められる。

（総 評）

サントリーホールの事業計画「サントリーホールの主催公演」は、妥当性、有効性、効率性、創造性、持続性において適切に進められていると認められる。

今後もサントリーホールが持つブランド力、世界最高水準の音楽を提供する発信力、グローバルな視野に基づいたオリジナルの企画力など、自らの強み・特色を活かし、戦略的な事業展開に期待したい。

中間評価結果 (可否のいずれかに○を附す)

継続



否